

※※※ 競技上の注意 ※※※

1 開会式式次第

- (1) 開会宣言
- (2) 優勝旗・優勝杯返還
- (3) 競技部会長あいさつ
- (4) 競技・審判上の注意
- (5) 会場使用上の注意
- (6) 選手宣誓

2 閉会式式次第

- (1) 成績発表並びに表彰
- (2) 競技部会長あいさつ
- (3) 閉会宣言

※開閉会式は集合・整列をせず、観客席に座ったままで行う。役割のある代表生徒のみフロアへ降りることができる。

3 大会日程

- (1) 第1日 団体戦全試合・個人戦ダブルス2回戦とシングルス1回戦まで
- (2) 第2日 個人戦残りの全試合

4 競技上の注意

- (1) ポイント…団体戦＝6オールから21点3ゲーム（2点連取あり）
準々決勝から正式ゲーム。

個人戦＝団体戦と同じ

*正式ゲームでは、ゲーム間（120秒以内）と11点（60秒以内）のインターバルあり。

サイドコーチについて

○団体戦、個人戦とも、初戦から監督及びコーチの2名までが、サイドコーチできる。

（マッチにふさわしい服装で行うこと。七分丈のズボンは認めない。）

※ショートゲームでは、ゲーム間（60秒以内）のみサイドコーチを認める。

※正式ゲームでは、インターバル（60秒以内）、ゲーム間（120秒以内）のサイドコーチを認める。

※監督及びコーチは、参加申込書等で大会事務局に提出している者に限る。

○上記以外のサイドコーチについては、採用しない。（全試合）

○競技フロア内では、スマートフォンの電源を切るか、マナーモードにしてください。また、モバイル機器（タブレット・携帯電話等）を使用するのアドバイスやコーチングは禁止する。

- (2) 団体戦は2点先取で打ち切る。試合順序は複①→単→複②で行う。オーダー用紙を速やかに提出すること。進行上、複・単同時に行うことがあるので注意すること。
- (3) 審判は、初戦は本部で指定する。以後の試合は、団体戦は敗者チームで全て行う。
（主審・線審・得点表示係）
個人戦は敗者…主審・得点表示係、勝者…線審。
（試合終了後直ちに主審からスコアシートを受け取り、本部に報告。本部で次の試合のスコアシートを受け取り、敗者に渡すこと。運営をスムーズに行うこと。）
- (4) 審判は公正かつ厳粛に審判をすること。試合前の練習はさせず、選手を確認し、直ちに試合を始めること。
- (5) 団体戦では、団体メンバーのみコートエンド（またはサイド）で応援することができる。ただし、うちわや鳴り物を使っての応援は認めない。監督・コーチも同様とする。
- (6) 水分補給は、主審の許可を得て行うこと。ただし、蓋付きボトルを使用すること。
- (7) インターバル中、氷のうを使用する場合は、やわらかいクーラーバッグに入れ、水滴を落とさないようにすること。また、ハンドファンの使用は認めない。

5 その他

- (1) 上下の履き物の区別をつけ、体育館を傷つけたり、壊したりしないこと。
- (2) 選手はフロアに入る際は下足を必ずシューズ袋に入れるなどして、個人で管理すること。
- (3) ジュース、菓子類の飲食は厳禁する。
- (4) 選手、応援者とも最善のマナーに徹すること。
- (5) 選手は背面に規定のゼッケンをつけること。
- (6) 貴重品の管理は各学校・チームで責任を持っておこなうこと。また、不要物は持ってこないこと。
- (7) 声を出しての応援は可能だが、鳴り物を使っての応援は禁止する。